

カリキュラム(ひな形)

機構施設名： 大分職業能力開発促進センター

実施機関名： (株)インソース九州支社

(A)バックオフィス	AI(人工知能)活用
新技術活用	

コースのねらい	AI(人工知能)の概要とビジネスの現場におけるAIの具体的な活用場面等について理解し、AI活用に係る知識を習得する。
---------	--

	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間(H)
講義内容	1	AI(人工知能)の概要	2.0
		(1) 対話型AIとは ①AI(人工知能)とは ②生成AIとは ③生成AIをめぐる市場環境 ④主な対話型生成AIの違い ⑤生成AIの応用範囲 【演習】実際にChatGPTを使えるように用意する (2) ChatGPTと会話してみる ①気楽に問いかける～検索ツールとして使う ②ChatGPTとの会話で新しいアイデアを生み出す 【演習】社外の課長へ送る、丁寧で失礼のないメールの文章を考えてもらう	
	2	AIの活用事例と今後の展望	4.0
		(1) 欲しい回答を引き出す質問の仕方 【演習】求める情報・回答をChatGPTからもらうために有効な指示を考える ①求める答え方を指示する ②ChatGPTを使いこなす質問の手順 ③対話を通して回答を得る ④フォーマットと「魔法の呪文」で効率よく回答を引き出す 【演習】業績不振な会社を立て直すためのアイデアを出してもらう (2) ChatGPTを仕事のスピードアップに役立てる 【演習】普通の業務の中で困っていることを相談してみる ①文書の作成 ②ブレインストーミング ③Excel×ChatGPT ④質問応答システムで顧客対応の自動化 ⑤プログラミングのコードの生成 ⑥APIを利用してChatGPTをアプリケーションなどに実装 (3) ChatGPTを導入した組織事例 ①ChatGPTの活用事例 ②ChatGPTの禁止事例 (4) ChatGPTのリスクと情報セキュリティ ①ChatGPTのリスク ②情報漏洩のリスク 【演習①】機密情報であるソースコードの流出 【演習②】AIで生成したコンテンツへの盗用疑惑 【演習③】実在しない判例を論拠として提出 (5) リスクを避けた社内運用方法 ①ChatGPTのサービス利用方法 ②API連携のメリット ③ChatGPTのAPI利用方法	
		合計時間	6.0

カリキュラム作成のポイント
<p>昨今大きな話題となっている「ChatGPT」の使い方やリスクを1日間で学習いただきます。様々な活用方法が世界中で議論されているChatGPTですが、まずは日常業務をよく知る現場のビジネスパーソンの方こそ、ChatGPTを使いこなすことですぐに成果につなげることができます。本研修でいろいろなケースを想定して質問を投げかけてみることで使い慣れ、業務への活用を具体的にイメージしていただけます。</p>

訓練に使用する機器等	
●機器・ソフトウェア(受講者用) ・スマートフォンもしくはPC ※ChatGPTをダウンロード済みの端末 ※PCをご用意いただく場合は受講者様各自でネットワークのご準備をお願いいたします	●機器・ソフトウェア(講師用・その他) ・ホワイトボード(可能であれば2枚) ・マイク(可能であればピンマイク)
●使用するテキスト	●その他

利用事業主に用意を求める機器等	備考
研修内で生成AIを利用することを想定しているため、受講者分のPCをご準備願います。また、各所属組織の端末でご使用される場合は、所属組織のセキュリティ上問題ないか必ず事前にご確認いただきたく存じます。自身のアカウントや所属企業で利用できるアカウントをお持ちの方はそちらをご利用いただいても問題ございません。	